

# 潮沢廃線敷整備事業

## 施策のポイント

地域住民と行政の協働により埋もれていた観光資源を掘り起し、旧篠ノ井線の廃線敷に光をあて、市町村合併による地域間格差の是正を図り市の一体感を醸成し、活力ある観光地域づくりの取り組み。

### 自治体情報

長野県安曇野市

人口 / 99,190人

標準財政規模 / 23,709,674千円

担当課 商工観光部観光課

電話番号 代表 0263-82-3131 内線 161

実施主体 安曇野市

関連ホームページ <http://www.city.azumino.nagano.jp/>

事業期間 平成 20 年度から平成 22 年度まで

参考とした施策

関係施策分類 ④ ⑥

## 施策の概要

### 1 取組に至る背景・目的

新線の開通に伴い廃線となった旧篠ノ井線の線路敷は、草木が繁茂し土砂災害や不法投棄により荒廃が進んでいた。そこで、地域住民がボランティア組織を結成し、本格的な廃線敷の整備を進めた結果、約6kmのトレッキングコースとして生まれ変わり、明治の鉄道の面影を残した廃線敷として観光客が訪れるようになった。



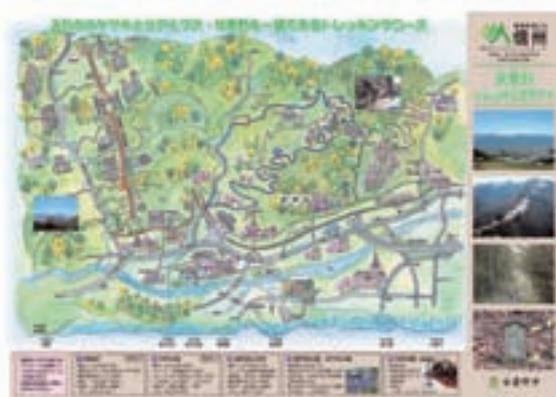
### 2 取り組みの具体的内容

#### (1) 地域住民の取り組み

地滑り防止のために「鉄道防備林」として植樹された約3万本のケヤキの間伐作業と廃線敷の下草刈や歩道の整備に取り組んだ。また、地域資源を活かした交流型の活力ある観光地域づくりを進めるため、ボランティアガイド組織の結成と、地域住民相互の情報の共有化を図り勉強会を実施している。

#### (2) 行政の取り組み

老朽化のため閉鎖していた2箇所のトンネルの修繕工事と歩道や駐車場を整備し、公衆トイレの設置を計画している。土石流危険地帯であることから地域の防災上の避難経路としての整備を実施した。観光地域づくりを進める上で地域住民へのアドバイスとコミュニティ活動への備品整備支援を実施した。



### 3 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

地域住民が協働により廃線敷を整備することで地域に愛着を感じ、住民の絆を深め地域の活性化を図り観光振興につなげ、市の地域間格差の是正を図る。

## 4 現在までの実績・成果

総レンガ造りの「漆久保トンネル」と「三五山トンネル」の復活により、明治時代の面影が色濃く残る廃線敷として、また、豊かな自然を満喫できる観光スポットとして注目を集めている。観光客の入込状況（ガイド実施分）は平成20年度が約600人、平成21年度は約4,200人と大幅に増えた。



## 5 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

廃線敷がある地域には複数の集落が隣接しているため、説明会の他にも小まめに各集落に足を運び、集落間の温度差を解消できるよう努めている。また、観光とは無縁の地域であったため、ハード事業だけが先行することなく、観光客の受入れ等地域住民の意識の高揚を図りながら事業を進めている。

## 6 今後の展開と課題

平成22年度においては集客力ある地域を目指し地域住民が自らイベントを企画するなど地域力の向上に期待が持てる。住民自らが地域に魅力を感じ、個性を活かした集客力のある地域づくりを通して、住民主導による温かみのある観光地を構築していくことができるが、課題も大きい。観光客の誘客もさる事ながら、市民が交流の場としていかに活用していけるか、今後の展開に期待が寄せられる。



### 予算関連データ

総額 ①～⑤の計		財源内訳（財源区分：①～⑤）				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
42,708千円		18,505千円	13,700千円	0千円	0千円	10,503千円
①～④の名称、 所管など	名称	地域活性化・ きめ細かな臨時交付金	合併特別交付金			/
	所管	総務省	まちづくり推進課			
	金額	18,505千円	13,700千円			
	補助率	-	-			

提供可能資料：広報あつみの 2009年7月号・安曇野トレッキングガイド・写真